

### (3) 授業記録

みんなで、ジェットコースターにのりました。  
はるかさんは、まえから6ばんめです。  
はるかさんのうしろには、8にんいます。  
みんなで14にんのっていることを、しきにあらわしてみよう。

#### (TTにより、問題場面の把握と解決のための見通しをもたせる場面)

S: 14人乗っていて、はるかさんは、ココです。  
S: 式にする問題だと思います。  
T: **今までに式にするために、どうしていたかな。**  
S: ブロックや 図を使って考えていました。  
S: 「計算名人への道」の順番で考えればいいのかと思う。  
S: ぼくはブロックで考えました。  
まずはじめに、ブロックを10のまとまりと4こ用意します。  
つぎに、はるかさんは、前から6番目だから  
このブロックを6と8にわけま……………  
S: 分けられないよ。それに、どこが前なの。  
T: **順番があるとき、どうしたらブロックで表すことができるかな。**  
S: 絵のようにブロックをヨコに並べたらいいと思う。  
S: 左を前にすると、はるかさんは6番目だからココです。  
S: 6と8にも分けることができるよ。

既習内容とつなげて考えられるようにする。

考えるポイントを絞って考えることができるように発問する。

順序数を集合数に置き換えて考えるための手だて

こどもが15にんならんでいます。  
ひとみさんは、まえから9ばんめです。  
ひとみさんの うしろには、なんにんいるでしょう。

#### (個々の歩みによってコースを選択し、きめ細かな指導により基礎・基本を身につけていく場面)

##### < Aコース >

< 考えがもてた子が、小黒板を使つての交流 >  
T: **今、みんなで交流したことをまとめて話せるといいね。**  
S: みんなで考えたことをはじめから話せばいいと思うよ。  
S: ぼくが話してみるね。  
S: まずはじめに、問題(1)でやったように 図にしてみました。  
つぎに、わかっている数を書きました。

筋道を立てて考えたこと  
のよさを実感できるように  
助言する。

##### < Bコース >

< 追究に行き詰まった子を集めての交流 >  
T: **どんなことを使って考えられそうですか。**  
S: 問題(1)で勉強した 図だと思います。  
S: 15こ をかいたけど、これからどうしたらいいかわかりません。  
T: どうして15こ をかいたの。  
S: 問題(1)のときと同じようにやればできると思ったから。  
S: 続けてみようよ。  
S: 次は、数を書いてみたらこうなったよ。  
S: たし算かな、ひき算かな。  
T: **比べてみて。どこがわからないの。**  
S: あっ、わかった。ひき算だ。  
S: 式もできそう。

既習内容とつなげて考えることでより理解ができるように助言し、そのよさを価値づける。

